

## 受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・米国株式ダイナミック戦略ファンド（愛称：亞米利加）」は、2022年5月17日に第4期決算を行いました。当ファンドは、米国製造業株式マザーファンド受益証券に投資を行うとともに、米国の株価指数先物取引および為替先渡取引等を活用することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っております。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



BNY MELLON  
INVESTMENT MANAGEMENT

# BNYメロン・米国株式 ダイナミック戦略ファンド (愛称：亞米利加)

追加型投信／海外／株式・株価指数先物取引／特殊型（派生商品型）

## 交付運用報告書

第4期(決算日2022年5月17日)

作成対象期間(2021年5月18日～2022年5月17日)

○当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。  
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記のホームページの「ファンド一覧」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。  
なお、過去5年間の運用報告書（全体版）につきましては、「ファンド一覧」画面の右「ファンド情報」欄の一番下の「運用報告書（全体版）過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

第4期末(2022年5月17日)	
基 準 価 額	14,150円
純 資 産 総 額	29,716百万円
第4期	
騰 落 率	6.0%
分配金(税込み)合計	500円

(注) 謄落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号  
丸の内トラストタワー本館

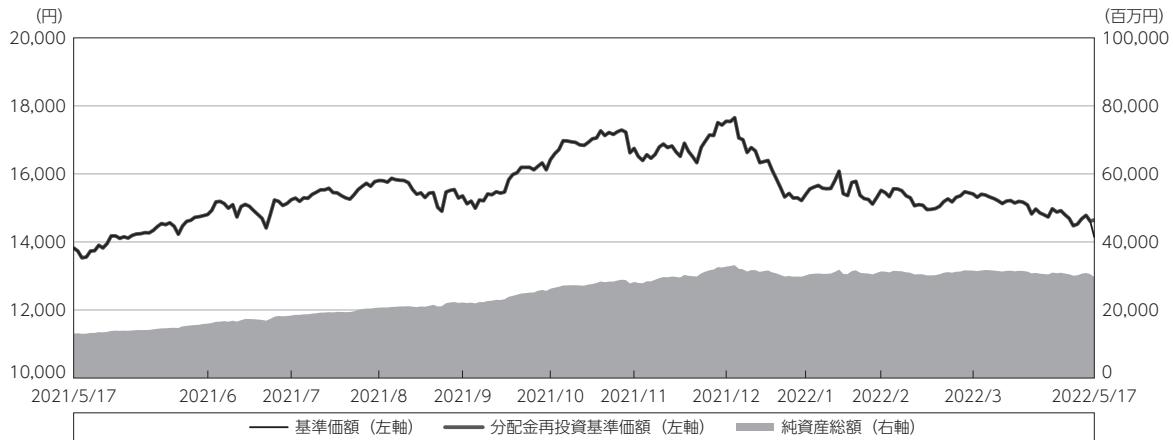
<運用報告書に関するお問い合わせ先>  
運用商品開発部

電話番号：03-6756-4600（代表）  
受付時間：営業日の9：00～17：00  
ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

## ■運用経過

(2021年5月18日～2022年5月17日)

### 期中の基準価額等の推移



期 首 : 13,821円

期 末 : 14,150円 (既払分配金(税込み) : 500円)

騰落率 : 6.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### 基準価額の主な変動要因

#### (上昇要因)

- 2021年10月から11月にかけて、米国株式市場が上昇し、為替市場が円安ドル高に推移する中で、実質的な米国株式の組入比率を高位としたこと

#### (下落要因)

- 2022年1月に、米国株式市場が下落する中で、実質的な米国株式の組入比率を高位にしたこと

## 1万口当たりの費用明細

(2021年5月18日～2022年5月17日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	円 318 (155) (155) ( 9)	% 2.035 (0.990) (0.990) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、15,611円です。 信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理 および事務手続き等の対価 信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 （株式） （先物・オプション）	7 ( 4) ( 3)	0.044 (0.024) (0.020)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 （株式）	0 ( 0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 （保管費用） （監査費用） （印刷） （その他）	7 ( 1) ( 1) ( 1) ( 4)	0.046 (0.007) (0.005) (0.005) (0.028)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用 金融商品取引に要する諸費用
合計	332	2.125	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

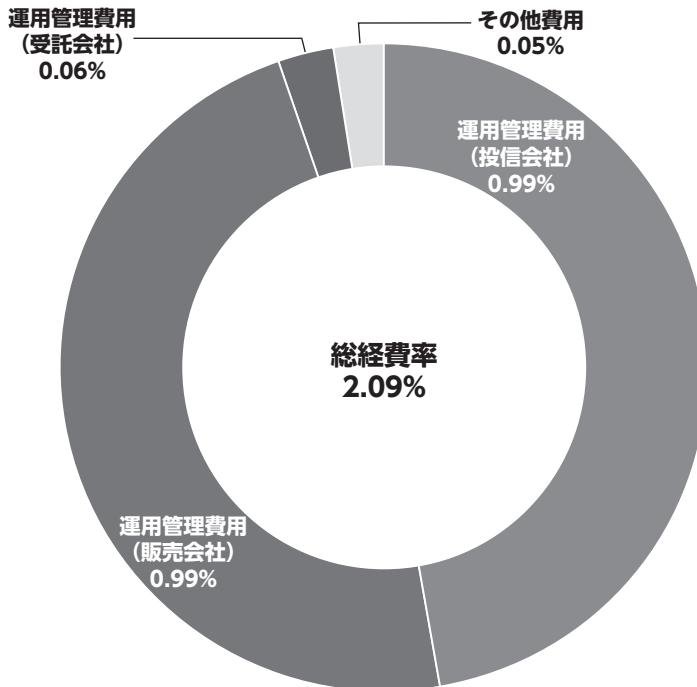
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年5月17日 設定日	2019年5月17日 第1期末	2020年5月18日 第2期末	2021年5月17日 第3期末	2022年5月17日 第4期末
基準価額 (円)	10,000	10,438	10,389	13,821	14,150
期間分配金合計（税込み） (円)	—	500	0	1,000	500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.4	△ 0.5	42.7	6.0
S & P 500指数(円換算)騰落率 (%)	—	5.8	△ 3.0	48.8	13.4
純資産総額 (百万円)	7,950	15,421	7,410	13,073	29,716

(注) 上記騰落率は、1年前の決算応当日との比較で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。ただし、第1期末の騰落率は、設定日との比較です。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額、設定日の純資産総額は設定元本を表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) S & P 500指数(円換算)は当ファンドの参考指標です。第1期については、設定日の前日を基準として騰落率を計算しております。

参考指標は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標として記載しております。

### ●参考指標について

S & P 500指数は、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスが算出・公表している、米国の証券取引所に上場された代表的な500銘柄で構成される株価指数です。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 投資環境

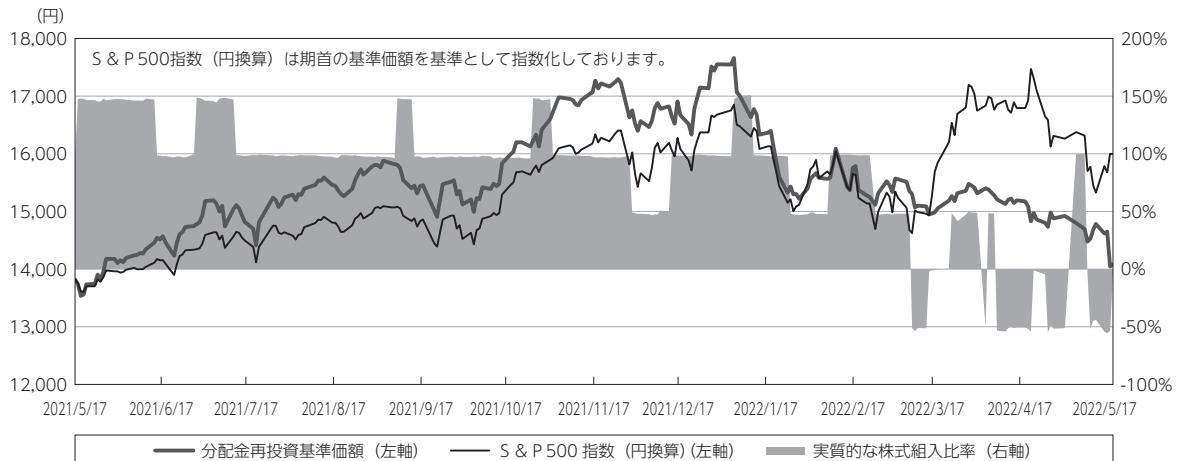


2021年5月から年末までは新型コロナウィルスからの経済の再始動が本格化する中で、経済指標や企業業績が好調に推移し、米国株式市場は概ね良好な推移となり、2022年初めに最高値を記録しました。しかし、その後2022年初から2022年5月までは、インフレの高まりを背景として米連邦準備理事会(FRB)を始めとする主要各国の中央銀行が金融引き締めを積極化させたことや、ロシアがウクライナへ侵攻したことで高値にあった商品価格が更に高騰しインフレ加速の懸念が高まつたこと、中国のゼロ・コロナ政策により中国の経済成長や世界的なサプライチェーンに先行き不透明感が高まつたことなどで、株式市場は軟調な展開となりました。

一方、為替市場では円安ドル高が進行しま

した。米ドルは2021年9月までは概ね1ドル110円前後の推移でしたが、9月にFRBが量的緩和の縮小を11月にも決定することを示唆し、2022年の利上げ見通しを公表したことでの円安推移となりました。さらに2022年2月のロシアのウクライナ侵攻を受けて商品市況が高騰しインフレ高進見通しが強まる、日米の金利差拡大を受けて130円台まで円安が加速しました。

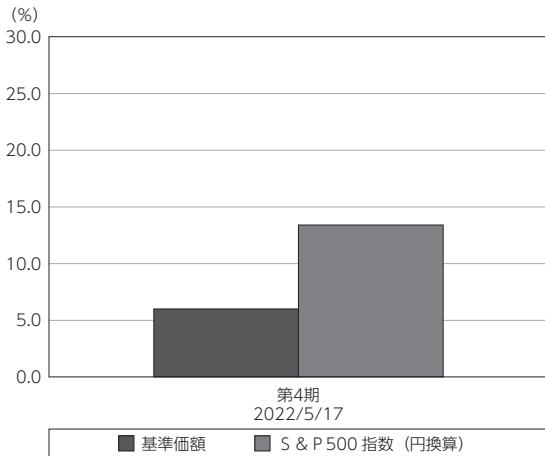
## 当ファンドのポートフォリオ



当ファンドは、主として米国製造業株式マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行いました。米国製造業株式マザーファンドでは、米国の製造業に関連した株式に投資を行いました。実質的な米国株式の組入比率については、当ファンドの運用助言会社である日興グローバルラップ株式会社からの投資助言に従って上下させました。当成期については、期初から2021年11月までは概ね100%～150%、2021年12月～2022年2月までは概ね50～100%、3月以降は-50%～100%としました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額と参考指標の対比（期別騰落率）



当期の基準価額の期中騰落率は6.0%となりました。一方、参考指標であるS & P 500指数（円換算）の期中騰落率は13.4%となりました。

なお、当ファンドはベンチマークを設けておりません。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指標は、S & P 500指数（円換算）です。詳細は4ページをご参照ください。

## 分配金

当期の収益分配については、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり500円（税込）とさせて頂きました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第4期	
	2021年5月18日～ 2022年5月17日	
当期分配金 (対基準価額比率)	500 3.413%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	500	
翌期繰越分配対象額	4,150	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

当ファンドは、米国製造業株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含む）されている株式の中から、主として米国の製造業に関連した株式に実質的に投資します。また、同時に、米国の株価指数先物および為替先渡取引等を活用することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を継続してまいります。

## ■お知らせ

### ●マザーファンドの約款変更のお知らせ

運用委託先の株式およびマルチアセット運用に関する事業承継により、新会社（ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー）がマザーファンドの運用を行うことになりましたので、マザーファンドの信託約款に所要の変更を行いました。（2021年9月1日付）

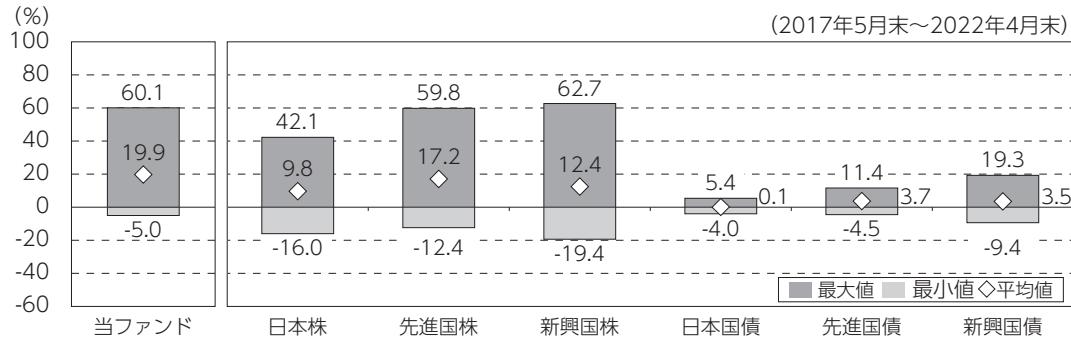
本変更により、実質的な運用に関する運用哲学、運用プロセスに変更はありません。

## ■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式・株価指数先物取引／特殊型（派生商品型）	
信託期間	2028年5月17日まで	
運用方針	「米国製造業株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式に実質的に投資を行うと同時に、米国の株価指数先物取引（以下「株価指数先物取引」ということがあります。）および為替先渡取引等を活用することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	B NYメロン・米国株式 ダイナミック戦略ファンド (ベビーファンド)	「米国製造業株式マザーファンド」の受益証券、株価指数先物取引および為替先渡取引に係る権利等を主要投資対象とします。
	米国製造業株式 マザーファンド (マザーファンド)	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>① マザーファンドの受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式の中から、主として米国の製造業に関連した株式に実質的に投資します。マザーファンドにおいては、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>② 米国の株式市場および円に対する米ドルの為替レートの上昇、下落それぞれの局面においてリターンを最大化することを目指し、株価指数先物取引および為替先渡取引等を用いて実質的な米国株式の組入比率*を調整します。</p> <p>*実質的な米国株式の組入比率とは、マザーファンドを通じた米国株式組入比率に対し、株価指数先物取引および為替先渡取引等を活用して調整した米国株式および米ドルの投資割合をいいます。</p> <p>③ 実質的な米国株式の組入比率は、通常、純資産総額の-50%～+150%の範囲内でコントロールすることを原則とします。株価指数先物取引および為替先渡取引等を活用するため、実質投資割合が信託財産の純資産総額を超える場合があります。</p> <p>④ 実質的な米国株式の組入比率の調整にあたっては、日興グローバルラップ株式会社より投資助言を受けます。</p> <p>⑤ マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として信託財産の純資産総額の50%以上とします。</p> <p>⑥ 資金動向、市況動向の急激な変化が予想されるとき、およびその他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>	
分配方針	毎決算時（原則として、毎年5月17日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

## (参考情報)

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年5月から2022年4月の5年間における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

なお、当ファンドについては、設定日が2018年5月17日のため、2019年5月から2022年4月までの数値であり、単純な比較はできません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

### 《各資産クラスの指標》

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という）が算出・公表している、日本の株式を対象として算出した株価指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、JPXに帰属します。

先進国株・・・MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

日本国債・・・NOMURA - BPI国債

野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

騰落率は、データソースが提供する各指標とともに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## ■当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

#### ○組入上位銘柄

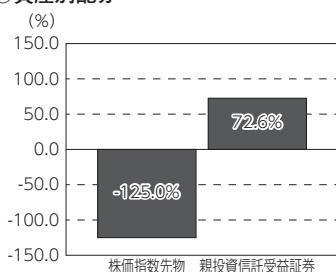
(2022年5月17日現在)

銘柄名	第4期末 %
S&P500 EMINI 2206 (売建)	125.0
米国製造業株式マザーファンド	72.6
組入銘柄数	2銘柄

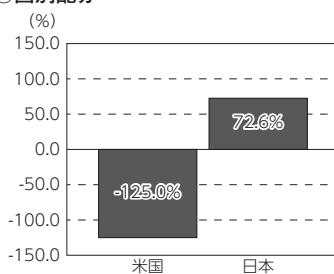
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

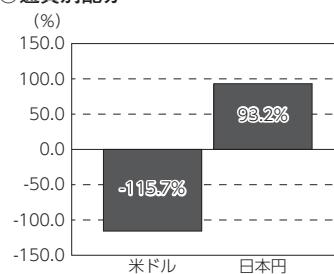
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別配分、国別配分には現金等を除いております。

(注) 通貨別配分は、通貨別純資産と為替予約取引の合計です。

### 純資産等

項目	第4期末
	2022年5月17日
純資産総額	29,716,630,184円
受益権総口数	21,000,606,163口
1万口当たり基準価額	14,150円

(注) 期中における追加設定元本額は17,849,942,462円、同解約元本額は6,308,434,045円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆米国製造業株式マザーファンド



### 【1万口当たりの費用明細】

(2021年5月18日～2022年5月17日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	24 (24)	0.034 (0.034)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (8) (1)	0.012 (0.011) (0.001)
合 計	33	0.046
期中の平均基準価額は、70,800円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。

### 【組入上位10銘柄】

(2022年5月17日現在)

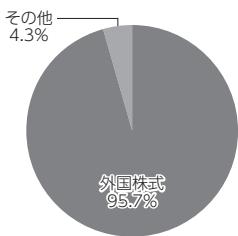
	銘 柏 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	米国	7.6%
2	CARRIER GLOBAL CORP	素材	米ドル	米国	4.8%
3	AMETEK, INC.	資本財	米ドル	米国	4.5%
4	INGERSOLL-RAND INC	資本財	米ドル	米国	4.4%
5	DANAHER CORP	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	米国	4.4%
6	ROPER TECHNOLOGIES INC	資本財	米ドル	米国	4.4%
7	HOWMET AEROSPACE INC	資本財	米ドル	米国	4.0%
8	HUBBELL INCORPORATED	資本財	米ドル	米国	3.9%
9	MOTOROLA SOLUTIONS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	米国	3.6%
10	THE MOSAIC COMPANY	素材	米ドル	米国	3.4%
組入銘柄数		39銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

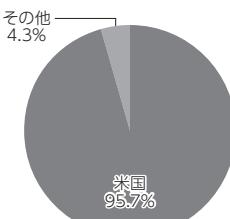
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

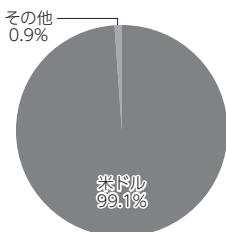
### 【資産別配分】



### 【国別配分】



### 【通貨別配分】



(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

●当マザーファンドの運用状況につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。